

事業報告-3

応用化学会給付奨学金内規の改訂

・ 背景

- 日本の国際競争力の維持・強化のために博士人材の育成が強く要請されている。
- 応用化学会給付奨学金を含めた現行の応用化学科・応用化学専攻の奨学金制度を見直すと、奨学金を必要とする応用化学科学部生、応用化学専攻の修士課程学生に最も意味のある給付を効果的に実施するための改訂が必要となった。
- 大学院に進み博士を志す学生が、その志を維持しながら勉学・研究に集中できるよう、学部生からの支援が、より重要になっている。

・ 主な改訂内容

- 給付対象を学部2～4年生まで拡大する

・ 改訂の効果的実施のために

- 博士後期課程進学の実績を常に更新強化できる仕組み（応化会の企画）
- 「先輩博士からのメッセージ」企画を通して早期より博士進学意欲を醸成

4月16日の役員会で内規改訂とその運用要綱の設定は承認された

1

事業報告-3

2021年度奨学生選考

2021年度応用化学会推薦奨学生選考結果

- ・ 推薦委員会による
推薦奨学生の選考

2022年4月9日

- ・ 応化会給付奨学生推薦委員

橋本奨学生推薦委員長

梅澤委員

斉藤委員

応用化学科教員

（教員3名の評定平均を1票とする）

研究室	現学年	漢字氏名	ふりがな
	B2	市村和可奈	いちむらわかな
	B2	佐藤晴香	さとうはるか
	B2	立花桜子	たちばなさくらこ
細川	B4	上岡滉太	かみおかこうた
小柳津・須賀	B4	店網隆之介	たなありゅうのすけ
関根	LD1	千島健伸	ちしまけんしん
山口	M2	中原輝	なかはらひかる

応募者13名（B2: 3名、B3: 1名、B4: 3名、M1: 2名、M2: 4名）から4月9日の推薦委員会にて選考を行い、上記の者を応用化学会給付奨学金受給者として推薦した。
推薦委員会の推薦に基づき、応用化学会会長が給付する奨学生を決定した。
4月16日の役員会における内規改訂の承認ののち、4月18日に応化会事務局より奨学生本人に通知した。

2

2021年度 水野・里見・森村奨学生選考結果

	部門	研究室	選考時 学年	漢字氏名
水野*(学振併給)	有機	山口	D2	齊藤 杏実
水野*(学振併給)	高分子	小柳津・須賀	D1	渡辺 清瑚
水野*(学振併給)	有機	山口	D1	加藤 弘基
水野*(学振併給)	有機	山口	M2	会田 和広
水野**(W-SPRING併給)	応用生物化学	桐村	D1	曹 偉
水野**(W-SPRING併給)	触媒	関根	M2	山野 遼太
水野M2	触媒	関根	M2	七種 紘規
里見D3	有機	山口	D2	星 貴之
里見D2	有機	細川	D1	クラーク ヒュー
里見D2(W-SPRING併給)	化学工学	野田・花田	D1	陳 鵬飛
里見D2(W-SPRING併給)	化学工学	野田・花田	D1	前 智太郎
里見D1(W-SPRING併給)	化学工学	野田・花田	M2	吉田 啓佑
里見D1(W-SPRING併給)	有機	細川	D1	中軽米 純
里見D1(W-SPRING併給)	有機	山口	M2	ウ チクン
里見D1* (W-SPRING併給)	有機	山口	M2	飯泉 慶一朗
里見D1**	有機	細川	M2	富樫 明日香
里見M2 (継続)	有機	山口	M1	久保 真之
里見M2 (継続)	有機	山口	M1	中原 輝
里見M2 (継続)	有機	山口	M1	宮崎 龍也
里見M2*	触媒	関根	M1	三瓶 大志
里見M1	有機	山口	B4	大木 風豪
里見M1	有機	山口	B4	彦坂 拓
森村奨励賞	化学工学	野田・花田	M2	吉田 啓佑
森村奨励賞	無機	下嶋	M2	宮本 佳明